

実務経歴書

(記入注意)この実務経歴書は勤務先(自営業を含む。)ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について受験及び登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、受験ができない場合及び登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置の対象となる場合又は受験及び登録が認められない場合もあります。

私は、二級 木造 建築士の 免許 試験を受けたので、建築実務の経歴を下記のとおり記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、下記事項が真実かつ正確であることを誓います。

年 月 日

氏名

奈良県指定登録機関
一般社団法人 奈良県建築士会会長 殿

記

学歴	学校名	学部名	学科・専攻名	昼夜間の別	修学年限	在学期間	卒業・中退の別
	中学校				3年制	年 月から 年 月まで	卒業
				昼・夜	年制	年 月から 年 月まで	卒業(修了) 中退
				昼・夜	年制	年 月から 年 月まで	卒業(修了) 中退

勤務先等

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間	合計年月数
		年 月～ 年 月	年 月

在職期間	合計年月数	地位職名	建築実務経験の内容(建築士法施行規則第1条の2)
年 月～ 年 月	年 月		

建築実務経験の詳細	建築実務経験期間の総合計	
	年 月	

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	期間	対象業務の割合	建築実務経験期間
			年 月～ 年 月	%	年 月
	建築実務経験の対象となる業務の内容(用途・構造・規模・担当業務等をできるだけ具体的に記載すること。)				

(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	期間	対象業務の割合	建築実務経験期間
			年 月～ 年 月	%	年 月
	建築実務経験の対象となる業務の内容(用途・構造・規模・担当業務等をできるだけ具体的に記載すること。)				

(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	期間	対象業務の割合	建築実務経験期間
			年 月～ 年 月	%	年 月
	建築実務経験の対象となる業務の内容(用途・構造・規模・担当業務等をできるだけ具体的に記載すること。)				

注 建築実務経験の詳細について、記入欄が不足する場合は、別紙に記入してください。